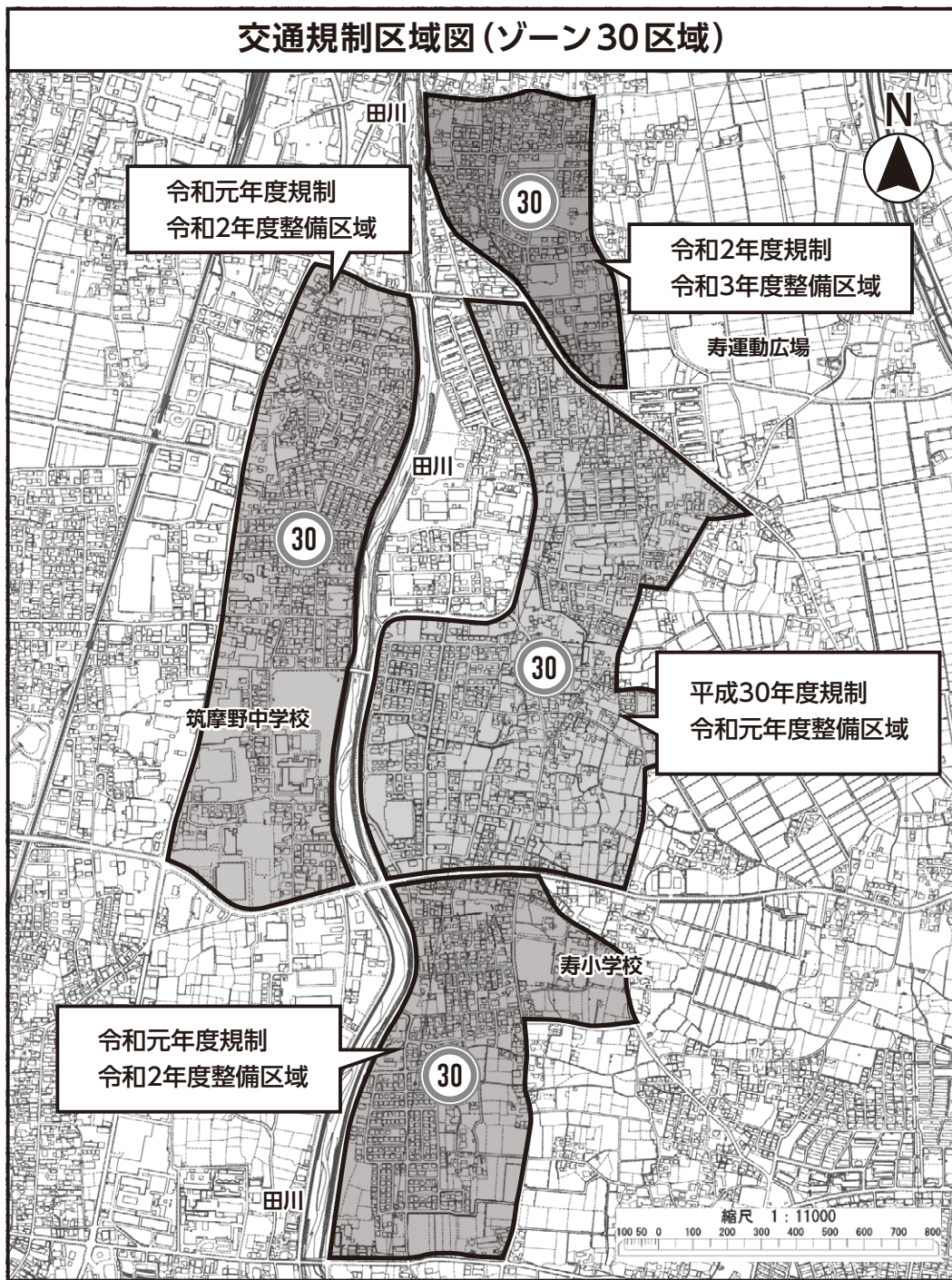


ゾーン30とは、歩行者の安全な通行を確保するために、区域(ゾーン)を定めて最高速度30km毎時の速度規制を行い、ゾーン内を抜け道として通行する行為等の抑制を促すものです。下記の太線で囲われた箇所が寿地区周辺の交通規制区域です。



世帯数 6,059戸
 人口 13,946人
 (令和4.3.1現在)

春の全国交通安全運動が始まります!!
ゾーン30ってなに?



春の全国交通安全運動が4月6日(水)から15日(金)まで実施されます。春は特に「子どもをはじめとする歩行者の安全確保」が重点項目に挙げられています。

また、長野県の重点項目は「高齢運転者の安全運転の徹底」です。

春は新入学の児童・生徒が初めての通学路を歩きます。地域の皆さんが交通ルールを守り、交通事故に遭わない、起こさないように心がけましょう。

寿地区では、子どもたちの安全を守るため、市を通じて長野県警察本部に「ゾーン30規制」の要望を提出し、令和3年度までに区域内の整備が整いました。

「ゾーン30内は歩行者優先!」

ゾーンでは歩行者が最優先です。運転手の皆さんは、交通ルールを守り、歩行者に細心の注意を払って通行しましょう。

小・中学校に入学する新入生の皆さんにとっては、初めての通学となります。子どもが事故に巻き込まれることがないように、運転マナーを見直し、子どもたちの安全を守りましょう。

わがまちこの人



寿田町代会は市営住宅と個人住宅が混交した町会です。市営住宅には駐車場組合があります。この組合は市営住宅に在住する住民の皆さんが所有する車両の管理・駐車場の割り当て・駐車場の整備など多岐にわたります。平成25年度からすべてを見直し、新たな体制によりスタートいたしました。現在の体制を作る準備期間を含めると10年目を迎えました。この間副組合長・組合長としてスムーズな運営に務め、平成27年からは組合長として腕を振るってこられた増田耕助さんを紹介いたします。駐車場組合は、住民の皆さんが所有する車両1台1台をどこに駐車

させるか、限られたスペースの有効な活用をしなければなりません。2台、3台と持つ家庭もあります。この割り振りが大変です。また、住民の皆さんの車の買い替えの際の証明書の発行にも携わります。駐車場の整備は水たまりのないよう、毎年砂利を入れ整備をしています。この作業にも先頭に立って作業を行い模範となつています。町会内の美化にもつながる作業です。車両の保有状況・駐車場の配置状況などを市役所の住宅課に毎年報告し、許可を受けます。また、各棟に管理委員を置き各棟ごとの状況の把握・連絡などのほか総会・役員会などの開催もあります。このような業務を永年にわたり務めている増田耕助さんです。

また、町会の副町会長兼防災部長としても活躍され防災資材の整備や・防災訓練等に頑張つてくれました。趣味も幅広く町会のマレットゴルフ同好会にも加わり日々楽しんで、そば会や木彫り会などにも持ち前の男気を出し、先頭になつて活躍したりする増田耕助さんは九州男児です。

【館報編集委員 久保田幸康】

コロナ禍の中での公民館活動

新型コロナウイルスの影響で各町会の公民館活動が大きな制約を受ける中、公民館活動ができないだろうかとり組みを考えてきました。松本市の発生状況が好転することを期待するばかりです。

寿地区福祉ひろばの活動が中心となり各町会の公民館活動が徐々に始まりました。出前講座が中心です。また、福祉ひろばを利用した活動も実施されています。

各町会独自の活動についての取り組みは進んでいるでしょうか。コロナの実情を把握し、公民館活動に取り組み積極的



ひろば出前講座
交通安全教室 (下瀬黒町会)



茶々での健康体操 (百瀬町会)

な意欲が必要です。コロナ禍においても活動をしている町会があります。実施するためには参加人数の制約・密防止のための工夫・マスク装着・体温測定・換気を行うなどの努力を確実に実行し、公民館活動に取り組んだ町会もいくつかあります。

良い環境が続くことは喜ばしいことです。悪い環境の中でも実行する意欲を持ち、コロナ禍のような悪い環境の中でも活動することを考えていただきたい。地域づくりにおいて場づくりの場である町会公民館で



寿田町文化祭 (寿田町町会)

す。町会と一体となり公民館活動の活性化を図り、住民の皆さんの憩いの場として提供してください。

【館報編集委員 久保田幸康】



子ども広場 (小池町会)